



トコロん
© 所沢市

わかたけ

No. 100

令和6年10月1日発行

- 発行：青少年育成所沢市民会議
- 編集：わかたけ編集委員会
- 事務局：こども未来部 青少年課
☎ 2998-9103

子どもは所沢の未来

100号記念

所沢市長
小野塚 勝俊



「わかたけ」100号の発行、誠におめでとうござい

ます。「わかたけ」は、昭和49年、第1号の発行以来、約50年の長きに渡り、多くの市民の皆様様に親しまれてまいりました。50年前と現代とは、子どもを取り巻く環境は大きく変化しております。そのような中でも、子どもに関わる様々なことを伝え続ける「わかたけ」は、大変貴重で、意義のある広報紙であり、毎回楽しみに拝読しております。これまで、青少年育成所沢市民会議に関わってこられた皆様は、子どもたちのために多くの時間を割き、大変エネルギーギッシュに活動されてこられました。貴団体で実施する、

スポーツ大会や所沢郷土かるた大会、所沢市との共催で実施する、青少年の非行・被害防止キャンペーンや青少年健全育成キャンペーン、その他にも、様々な事業で皆様の活動するお姿を拝見しております。

そして、事業に参加する子どもたちが生き生きと活動する様子から、多くの方のお力添えがあつて、子どもたちの笑顔が生まれていると感じており、改めて感謝申し上げます。次第でございます。

私といたしましても、小中学校給食費の無償化や18歳までの医療費無償化など、子どもや子育て世帯を応援する新たな事業をスピード感をもって実施しているところでございます。

子どもは、家庭や学校だけでなく、地域の皆様にも見守っていただき、社会全体で育てていくことが必要です。引続き、子どもたちが健やか

に成長し、笑顔で暮らせるまち、「子どもを中心としたまちづくり」の考えの下、将来を見据えた市政運営に努めてまいります。今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、貴団体の益々の発展をご祈念いたします。



所沢市議会 議長
松本 明信



広報紙「わかたけ」100号の節目となる発行、誠にありがとうございます。

さて、青少年を巡る昨今の状況を見ますと、いじめや不登校、ヤングケアラー、ひとり親家庭の貧困といったニュースが散見され、青少年

を取巻く厳しい状況が窺えます。

一方で、所沢市では今年度から18歳までの医療費無償化や、小中学校給食費の無償化が実施されるとともに、発達障害児アウトリーチ支援事業やいじめ未然防止対策事業が新たに予算措置されるなど、前向きな話題もあります。

このような状況の中、市議会としましては、各委員会において、子育て支援や特別支援学級の充実をテーマに、市当局を交えての検討の場を設け、先進事例の視察を行うなどしており、未来を託す青少年が健全で豊かに成長できるよう、取組んで参る所存です。

結びに、青少年育成所沢市民会議のますますのご発展並びに広報紙「わかたけ」の発行が200号、300号と続きますことを祈念して、挨拶いたします。

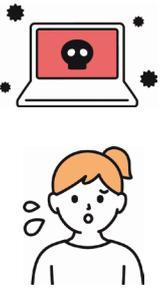




「最近の子供たちは落ち着いてますね」。そうおっしゃる方がいます。確かに街頭パトロールをしていても、公園や店先にたむろする子供は見かけませんが、今の子供たちが「健全」に育っているかと言われれば、正直そうではないようです。単に見えなくなっただけというのが実感です。

今や多くの子供たちは、親や教師の目が届かないインターネットの空間で長い時間を過ごしています。静かにしているように見えて、実は危険なサイトにアクセスし、危険な人とやり取りをしているかもしれません。

インターネットは人を闇の世界に引きずり込む恐れのある危ない空間でもありますが、多くの子供たちはそれを意識せずに無防備に入り込んでいます。そのため最近では、小学生が犯罪に巻き込まれるケースが確実に増えています。



広報紙「わかたけ」の100号の節目を迎えるにあたり、これまでの取組を評価しつつ、変化に対応した新たな活動が求められていると強く感じています。



所沢警察署 署長 風間 康男



本年3月、第102代所沢警察署長に就任した風間です。「わかたけ」100号の発行、誠にありがとうございます。

青少年育成所沢市民会議の皆様には、各種スポーツ大会や環境浄化等様々な活動を通じて、青少年の健全育成に貢献されており、ことに厚く御礼申し上げます。

少年補導・検挙件数は、コ

ロナ禍が収束し急激に増加しているほか、最近ではスマホ等の普及により、SNS等での闇バイト勧誘、性犯罪被害等も多発するなど、青少年を取巻く環境は複雑化しています。

所沢警察署では補導・検挙活動に全力を挙げて取組んでおりますが、同時に少年が非行を起こさない環境作りが重要です。少年への無関心が非行を助長する一因ですので、貴会が取組んでおられる活動こそ有効であります。今後も各種活動を通じて、青少年の健全育成にご尽力いただきますようお願いいたします。

結びに、青少年育成所沢市民会議の益々のご発展と貴会の皆様のご健勝を祈念し、発行の挨拶とさせていただきます。



『わかたけ』を振り返って

青少年育成所沢市民会議は昭和47年に設立し、2年後の昭和49年に広報紙「わかたけ」第1号を発行しました。その後約50年間、絶え間なく発行し続け、本号で100号を迎えました。

昭和49年に発行した第1号では、青少年育成所沢市民会議設立の経緯、目的、構成する団体、主な事業等を紹介しました。その他にも、「青年と余暇」として、当時の青年の余暇の過ごし方を掲載しました。

その後は、構成する団体の

活動を紹介したり、その時々々の青少年に関する問題を取り上げてきました。最近では、所沢市立小中学校の児童・生徒全員の手元へ届く広報紙として、青少年の活動や声を取り上げています。

青少年を取巻く環境は、「わかたけ」第1号の発行から50年余り、大きく変化しています。そんな中でも、次代を担う青少年が心身ともに健やかに、たくましく育つことは、今も昔も変わらず、全ての親、社会の願いです。

「わかたけ」では、引き続き、青少年健全育成を担うものひとつとして、青少年や家庭にとって役立つ情報をお届けできよう努めてまいります。

Collage of 'Wakatake' magazine covers. Includes 'Youth and Leisure' (青年と余暇), '1st Issue' (1号表紙), and 'Youth and Leisure' (青年と余暇) with a photo of Mt. Fuji.

テニール



1993年に「日本テニール協会」が発足し、30年が経ちました。2008年、「テニール」は文部科学省の「小学校学習指導要領解説・体育編」に記載され、現在、小学校の体育授業で行われています。日本式テニールの創設者、吉村 正（現NPO法人日本テニール協会理事長／早稲田大学名誉教授）先生の「貫いた「スポーツ文化」としてのテニールの普及、野球・ソフトボールの普及・拡大、そしてスポーツ愛好者の育成、こどもの国際交流推進。これらは「テニール協会の設立の趣旨」で、今日これが現実のものとなっています。

協会の大きな事業として「文部科学大臣杯全国小学生（3・4年生）テニール選

手権大会」があります。ここ所沢で8月20日、第27回大会が開催（ベルーナドーム）され、全国から予選を勝ち抜いた32チームが出場し、同時にアジアのテニール交流も開催。

所沢市からは「所沢少年テニールクラブ」が出場し、これまでに準優勝1回、ベスト8が3回の成績を残しています。選手たちは、勝ち負けに拘らないで、「健康」「笑顔」「仲間」を「テニール」の神髄として表しています。

また、所沢では、毎年春秋に、小学4年生以下の「テニール大会」を開催しています。その一つは、青少年育成所沢市民会議の後援のもと、今年6月22日に開催し、小学4年生以下の290名の選手が集いました。

昨春秋には「こどもスポーツフェア」として、日頃あま

り運動をしていない子ども達を中心に「テニール体験会」を開催しました。体験が始まると、想像を超える子ども達の笑顔と楽しさを表す動きが、私たちに感動を与えてくれました。これは、子ども達が持っている「純粋さ」であり、ここに大きな喜びを感じました。



（日本テニール協会 所沢市連盟）



所沢郷土かるたは、平成22年に青少年育成所沢市民会議が市制施行60周年を記念して作成しました。

子どもたちの地域の理解向上、それから親子で所沢の魅力を再発見することを目的として、様々な事業を展開しています。

市役所2階の青少年課にて販売・貸出しておりますので、ぜひ一度お手にとってみてください。

所沢郷土かるた
1組 800円



かるた札紹介

広報紙わかたけでは、かるた札の連載をしております。今回は「な」の札です。

名にしおう

歴史に残る

三富開拓



江戸時代元禄年間（約300年前）、川越藩主柳沢吉保の命により開拓された三富新田は、中国の学問に基づき、地割は細長い短冊状に区切られ、各地から入植した農民に配分された。屋敷・畑・ヤマ（山林）と区画された短冊形の地割は、現在もその姿をとどめている。

是非、この機会に、親子で、所沢の魅力を再発見してみませんか？

応募方法などの詳細は所沢市ホームページからご確認ください。



所沢郷土かるた 写真コンテスト 作品募集

「親子で再発見！所沢郷土かるた写真コンテスト」を実施します。10月31日（木）まで、作品募集中です！

各種事業の報告

青少年育成所沢市民会議 令和6年度定期総会

5月15日(水)、市役所8階大会議室にて開催しました。
令和5年度事業及び決算報告、令和6年度予算及び事業計画のほか、役員の改選について審議され、すべて可決されました。

青少年の非行・被害防止強調 月間街頭啓発キャンペーン

7月13日(土)、所沢市と共催で開催しました。当日は、市長、議長、教育長、警察署長をはじめ、総勢119名の参加者の協力を得て、約1600部の啓発リーフレット等を配布しました。市民会議の事業へボランティアとして協力してくれる中学生、「ジュニア推進員」も参加しました。



少年野球大会(第56回)

【時】6月29日～7月7日

【成績】

- ・Aリーグ
 - 優勝 所小ドリームス
 - 準優勝 所沢上安松ファイターズ
 - 3位 新所沢メッツスポーツ少年団
 - 3位 山口ニュースターズA
 - ・Bリーグ
 - 優勝 新所沢ライノーズB
 - 準優勝 富岡レッドアローズ
 - 3位 小手指ファイターズ
 - 3位 堀之内エコー
- 決勝戦は7月7日(日)に航空記念公園野球場で行われました。



▲決勝戦の様子

厳しい暑さの中、どのチームも一生懸命打って走って守って…。チーム一丸となり戦いました。

所小ドリームス キャプテン 高野 瑞人くん

所沢市少年野球大会は、市内で行われる少年野球大会の中でも最も多くのチームが参加するトーナメント戦です。勝てば優勝という重圧の中での決勝戦は、タイプブレイクまでもつれましたが、チーム一丸となり制することができました。

所小ドリームスのチームの歴史上、本大会での優勝は初めてのことであり、とても嬉しく思います。



少年サッカー大会(第49回)

【時】8月25日～9月14日

【成績】

- ・小学生上級の部
 - 優勝 柳瀬レッドローズジュニア
 - 準優勝 小手指サッカースポーツ少年団A
 - 3位 美原サッカークラブA
 - ・小学生中級の部
 - 優勝 所沢サッカークラブジュニアA
 - 準優勝 柳瀬レッドローズジュニア
 - 3位 山サントスサッカークラブA
- 決勝戦は9月14日(土)に北中運動場グラウンドで行われました。
- 選手たちは懸命にボールを追いかけて、熱戦を繰り広げました。

▲決勝戦の様子



▲優勝した柳瀬レッドローズジュニア



編集後記

青少年育成所沢市民会議

会長 須澤 一男

昭和49年に創刊された「わかたけ」も100号を迎えました。

50年前を思い出すと、私が、昭和47年4月6日に少年サッカーチームを立ち上げたばかりの頃です。私は、当初から、サッカーを通じて子どもたちが挨拶をできるようにすることを目標の一つと考えて指導してきました。スポーツ少年団の本部長となった今では挨拶が定着し、全体の目標の一

- 編集委員
- ▽榎本崇義
- ▽三浦光子
- ▽道又一枝
- ▽江口庸介
- まんが作 島田孝行
- 「わかたけ」がダウンロードできます。
- わかたけ編集委員を募集しています!
- 執筆・編集に興味のある方、伝えたい記事がある方、事務局までご連絡ください!



つとなっています。

サッカーから始まった子どもたちとの関わりが、青少年育成所沢市民会議での活動を通して、スポーツ全体、地域全体の活動まで広がりました。

私一人では何もできませんが、多くの方々のお力添えにより、これからも社会全体で子どもたちを守り、育てていきたいと思っております。

さらに、この「わかたけ」でも、様々な情報をお届けしていきたいと思っております。

今後ともご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。